国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　国際石油開発帝石株式会社　　上場取引所　東
コード番号　1605　URL　http://www.inpex.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 北村　俊昭
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット　ジェネラルマネージャー　(氏名) 橘高 公久　TEL 03-5572-0233

四半期報告書提出予定日　平成23年11月9日　配当支払開始予定日　平成23年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	573,165	32.4	328,060	41.0	332,484	51.0	74,396	47.0
23年3月期第2四半期	432,992	10.3	232,608	15.0	220,116	13.9	50,626	6.3

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　69,028百万円　(131.7%)　23年3月期第2四半期　29,794百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	20,377.60	—
23年3月期第2四半期	18,584.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,747,248	2,154,408	74.5
23年3月期	2,680,379	2,097,382	74.5

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　2,046,357百万円　23年3月期　1,996,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3,000.00	—	3,000.00	6,000.00
24年3月期	—	3,000.00			
24年3月期(予想)			—	3,000.00	6,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,068,000	13.2	600,000	13.3	601,000	18.2	140,000	8.8	38,346.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	3,655,810 株	23年3月期	3,655,810 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,916 株	23年3月期	4,916 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	3,650,894 株	23年3月期2Q	2,724,180 株

(注)甲種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施されています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報..... 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報..... 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報..... 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報..... 4
２．その他の情報..... 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要..... 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要..... 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... 4
３．四半期連結財務諸表..... 5
(1) 四半期連結貸借対照表..... 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... 7
四半期連結損益計算書..... 7
四半期連結包括利益計算書..... 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... 9
(4) 継続企業の前提に関する注記..... 11
(5) セグメント情報等..... 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... 13
(7) 重要な後発事象..... 13
４．参考情報..... 14
(1) 生産、受注及び販売の状況..... 14

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間は前年同期と比べ為替が円高に推移したものの、油価高・ガス価高が寄与して売上高は前年同期比1,401億円、32.4%増の5,731億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比1,028億円、41.2%増の3,521億円、天然ガス売上高は前年同期比352億円、20.7%増の2,058億円となりました。当第２四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比2,643千バレル、7.2%増加の39,139千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比16,041百万立方フィート、8.0%減少の184,454百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比15,514百万立方フィート、9.0%減少の156,027百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比14百万立方メートル、1.8%減少の762百万立方メートル、立方フィート換算では28,427百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり111.77米ドルとなり、前年同期比36.07米ドル、47.6%の上昇となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり13.55米ドルとなり、前年同期比5.16米ドル、61.5%の上昇となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり42円82銭となり、前年同期比1円58銭、3.8%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル79円93銭となり、前年同期比9円40銭、10.5%の円高となりました。

売上高の増加額1,401億円を要因別に分析しますと、販売数量は原油が増加したものの、天然ガスの減少により8億円の減収要因、販売単価の上昇により2,003億円の増収要因、為替は売上の平均為替レートが円高になったことにより614億円の減収要因、その他の売上高は21億円の増収要因となりました。

一方、売上原価は、主にADMA鉱区における売上増に伴うロイヤリティの増加により前年同期比373億円、23.1%増の1,994億円となりました。探鉱費は主に米州の探鉱活動が増加したことにより、前年同期比40億円、63.1%増の105億円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比32億円、10.2%増の351億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比954億円、41.0%増の3,280億円となりました。

営業外収益は、持分法による投資利益や持分変動利益の増加により、前年同期比93億円、89.1%増の198億円となりました。営業外費用は為替差損が減少（当期は為替差益）したことに加え、前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が当第２四半期連結累計期間は無かったことなどにより、前年同期比75億円、32.9%減の154億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比1,123億円、51.0%増の3,324億円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比853億円、53.3%増の2,453億円、法人税等調整額は40億円となり、少数株主損益調整前四半期純利益は前年同期比299億円、56.3%増の830億円となりました。少数株主利益は86億円となり、以上の結果、四半期純利益は前年同期比237億円、47.0%増の743億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

天然ガス及び石油製品の販売価格が上昇したことにより、売上高は前年同期比29億円、6.2%増の499億円となりましたが、営業利益は天然ガス買入高が増加したことにより前年同期比28億円、32.4%減の59億円となりました。

② アジア・オセアニア

原油・天然ガス販売量の減少及び為替が円高に推移したものの、油価及びガス価の上昇により、売上高は前年同期比316億円、15.8%増の2,316億円、営業利益は前年同期比242億円、21.5%増の1,371億円となりました。

③ ユーラシア(欧州・NIS諸国)

油価高及び原油販売量の増加に伴い、売上高は前年同期比239億円、113.7%増の450億円、営

業利益は前年同期比156億円、158.8%増の254億円となりました。

④　中東・アフリカ

油価高及び原油販売量の増加に伴い、売上高は前年同期比867億円、55.2%増の2,439億円、営業利益は前年同期比646億円、60.5%増の1,715億円となりました。

⑤　米州

原油販売量の減少により、売上高は前年同期比51億円、66.0%減の26億円となり、探鉱費の増加により営業損失は前年同期比50億円、319.7%増の66億円となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は2兆7,472億円となり、前連結会計年度末の2兆6,803億円と比較して668億円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、現金及び預金が467億円増加したほか、投資有価証券が309億円増加したことによります。

一方、負債は5,928億円で、前連結会計年度末の5,829億円と比較して98億円の増加となりました。このうち流動負債は2,572億円で、前連結会計年度末比25億円の増加、固定負債は3,355億円で、前連結会計年度末比72億円の増加となりました。

純資産は2兆1,544億円となり、前連結会計年度末比570億円の増加となりました。このうち、少数株主持分は1,080億円で、前連結会計年度末比75億円の増加となりました。

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の1,820億円から当第２四半期中に減少した資金116億円を差し引いた1,703億円となりました。

当第２四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比118億円増の1,386億円となりました。これは、主に油価上昇により税金等調整前四半期純利益が増加した一方で、法人税等の支払額が増加したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比79億円増の1,559億円となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が増加したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期比5,110億円減の123億円となりました。これは、前年同期は株式の発行による収入があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の通期連結業績予想については、平成24年３月期第２四半期連結累計期間の実績を加味し、第３四半期以降の前提となる為替レートなどを見直した結果、平成23年８月３日に公表の数値から下記のとおりの修正を行いました。なお、平成23年７月22日付で公表しておりますインドネシア共和国マセラ鉱区権益（アバディプロジェクト）の一部譲渡については、現時点では当該譲渡が完了していないため、今次業績予想修正には織り込んでおりません。

通期連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	1,058,000	597,000	585,000	140,000
今回修正予想（Ｂ）	1,068,000	600,000	601,000	140,000
増減額（Ｂ－Ａ）	10,000	3,000	16,000	―
増減率（％）	0.9	0.5	2.7	―

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格（ブレント）	上期	106.1ドル/バレル	上期(実績)	114.7ドル/バレル
	下期	95.0ドル/バレル	下期	95.0ドル/バレル
	通期平均	100.5ドル/バレル	通期平均	104.8ドル/バレル
為替（対米ドル）	上期	80.9円/ドル	上期(実績)	79.8円/ドル
	下期	80.0円/ドル	下期	75.0円/ドル
	通期平均	80.4円/ドル	通期平均	77.4円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

２．その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,395	159,169
受取手形及び売掛金	95,391	101,517
有価証券	207,165	190,947
たな卸資産	12,137	11,879
その他	78,983	72,283
貸倒引当金	△13,141	△12,660
流動資産合計	492,932	523,135
固定資産		
有形固定資産	379,861	379,634
無形固定資産		
のれん	101,362	97,981
その他	147,748	144,015
無形固定資産合計	249,110	241,997
投資その他の資産		
投資有価証券	975,541	1,006,500
生産物回収勘定	534,330	560,463
その他	159,533	152,742
貸倒引当金	△270	△243
生産物回収勘定引当金	△96,879	△109,586
探鉱投資引当金	△13,780	△7,395
投資その他の資産合計	1,558,474	1,602,481
固定資産合計	2,187,447	2,224,113
資産合計	2,680,379	2,747,248
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,441	26,593
短期借入金	4,441	4,261
未払法人税等	113,101	102,404
探鉱事業引当金	9,537	9,176
役員賞与引当金	127	70
資産除去債務	3,686	3,576
その他	100,393	111,202
流動負債合計	254,728	257,285
固定負債		
長期借入金	268,706	270,776
退職給付引当金	6,979	6,573
特別修繕引当金	443	451
資産除去債務	8,965	9,169
その他	43,173	48,582
固定負債合計	328,268	335,554
負債合計	582,997	592,840

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	679,287
利益剰余金	1,047,431	1,110,874
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,012,280	2,075,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,455	△12,093
為替換算調整勘定	△16,847	△17,273
その他の包括利益累計額合計	△15,391	△29,366
少数株主持分	100,493	108,050
純資産合計	2,097,382	2,154,408
負債純資産合計	2,680,379	2,747,248

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
売上高	432,992	573,165
売上原価	162,044	199,425
売上総利益	270,948	373,740
探鉱費	6,461	10,535
販売費及び一般管理費	31,878	35,143
営業利益	232,608	328,060
営業外収益		
受取利息	2,017	2,095
受取配当金	2,226	2,184
持分法による投資利益	318	4,035
持分変動利益	2,800	6,685
為替差益	－	1,986
その他	3,129	2,848
営業外収益合計	10,491	19,835
営業外費用		
支払利息	509	574
生産物回収勘定引当金繰入額	7,500	9,145
探鉱事業引当金繰入額	2,025	845
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,555	－
為替差損	1,888	－
その他	9,503	4,846
営業外費用合計	22,982	15,411
経常利益	220,116	332,484
税金等調整前四半期純利益	220,116	332,484
法人税、住民税及び事業税	160,015	245,369
法人税等調整額	6,979	4,083
法人税等合計	166,995	249,453
少数株主損益調整前四半期純利益	53,121	83,030
少数株主利益	2,495	8,634
四半期純利益	50,626	74,396

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	53,121	83,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,756	△13,542
繰延ヘッジ損益	△55	－
為替換算調整勘定	△9,683	△239
持分法適用会社に対する持分相当額	△831	△220
その他の包括利益合計	△23,326	△14,002
四半期包括利益	29,794	69,028
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,715	60,421
少数株主に係る四半期包括利益	79	8,607

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	220,116	332,484
減価償却費	28,087	23,722
のれん償却額	3,380	3,380
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,555	―
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	11,702	11,906
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△2,453	△320
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△370	△405
その他の引当金の増減額（△は減少）	1,725	652
受取利息及び受取配当金	△4,243	△4,279
支払利息	509	574
為替差損益（△は益）	△2,685	△4,623
持分法による投資損益（△は益）	△318	△4,035
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	23,918	29,095
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△2,296	△11,172
売上債権の増減額（△は増加）	15,383	△5,518
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,136	248
仕入債務の増減額（△は減少）	17	2,900
その他	9,810	6,789
小計	300,703	381,399
利息及び配当金の受取額	5,322	6,826
利息の支払額	△179	△622
法人税等の支払額	△179,119	△249,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,727	138,602
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△243	△6,576
定期預金の払戻による収入	3,735	829
有形固定資産の取得による支出	△42,223	△23,611
有形固定資産の売却による収入	270	83
無形固定資産の取得による支出	△201	△662
有価証券の取得による支出	△3,542	―
有価証券の売却及び償還による収入	49,000	91,114
投資有価証券の取得による支出	△92,204	△196,531
投資有価証券の売却及び償還による収入	10,079	20,304
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△39,859	△43,255
短期貸付金の増減額（△は増加）	62	2,678
長期貸付けによる支出	△1,125	△2,873
長期貸付金の回収による収入	556	3,562
権益取得による支出	△28,045	―
その他	△4,289	△1,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,029	△155,996

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	521,619	―
短期借入金の純増減額（△は減少）	△30	△60
長期借入れによる収入	20,354	19,961
長期借入金の返済による支出	△2,157	△2,160
少数株主からの払込みによる収入	3,192	9,574
配当金の支払額	△7,074	△10,956
少数株主への配当金の支払額	△12,397	△3,939
その他	△35	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	523,471	12,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,498	△7,438
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	490,671	△12,435
現金及び現金同等物の期首残高	216,395	182,025
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4	750
現金及び現金同等物の四半期末残高	707,071	170,339

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア(欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	47,022	199,960	21,078	157,137	7,793	432,992	－	432,992
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	47,022	199,960	21,078	157,137	7,793	432,992	－	432,992
セグメント利益又は損失（△）	8,832	112,908	9,836	106,875	△1,587	236,866	△4,258	232,608

（注）１ セグメント利益の調整額△4,258百万円は、セグメント間取引消去117百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,376百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア(欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	49,949	231,631	45,036	243,900	2,646	573,165	－	573,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	49,949	231,631	45,036	243,900	2,646	573,165	－	573,165
セグメント利益又は損失（△）	5,971	137,152	25,457	171,503	△6,662	333,423	△5,362	328,060

（注）１ セグメント利益の調整額△5,362百万円は、セグメント間取引消去115百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,478百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
該当事項はありません。

４．参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

前第２四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
日本	原油	0.6百万バレル (日量3.5千バレル)
	天然ガス	20.7十億CF (日量113.0百万CF)
	小計	4.1百万BOE (日量22.3千BOE)
	石油製品	114.1千kl (718.0千バレル)
	ヨード	221.5t
	発電	94.8百万kWh
アジア・オセアニア	原油	13.8百万バレル (日量75.4千バレル)
	天然ガス	166.5十億CF (日量910.0百万CF)
	小計	41.6百万BOE (日量227.1千BOE)
ユーラシア（欧州・NIS諸国）	原油	5.1百万バレル (日量27.8千バレル)
中東・アフリカ	原油	24.0百万バレル (日量131.4千バレル)
米州	原油	1.4百万バレル (日量7.9千バレル)
	天然ガス	15.6十億CF (日量85.1百万CF)
	小計	4.0百万BOE (日量22.1千BOE)
合計	原油	45.0百万バレル (日量246.0千バレル)
	天然ガス	202.8十億CF (日量1,108.0百万CF)
	小計	78.8百万BOE (日量430.7千BOE)
	石油製品	114.1千kl (718.0千バレル)
	ヨード	221.5t
	発電	94.8百万kWh

(注) 1　海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
2　原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
3　原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
4　上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、４月１日から９月30日の実績となっております。
5　当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、原油65.5百万バレル(日量357.7千バレル)、天然ガス　271.9十億CF(日量1,485.8百万CF)、合計110.8百万BOE(日量605.3千BOE)となります。
6　BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
7　石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
8　ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
9　数量は小数点第2位で四捨五入しております。
10　前連結会計年度より国内の天然ガスの熱量換算係数を変更したことに伴い、変更後の生産量を記載しております。
なお、変更前の天然ガスの生産量は、日本セグメントでは20.1十億CF（日量109.6百万CF）、全セグメント合計では202.2十億CF（日量1,104.7百万CF）であります。

当第２四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
日本	原油	0.6百万バレル (日量3.1千バレル)
	天然ガス	18.5十億CF (日量101.2百万CF)
	小計	3.7百万BOE (日量20.0千BOE)
	石油製品	117.8千kl (741.1千バレル)
	ヨード	204.7t
	発電	98.2百万kWh
アジア・オセアニア	原油	9.4百万バレル (日量51.5千バレル)
	天然ガス	150.3十億CF (日量821.5百万CF)
	小計	34.5百万BOE (日量188.4千BOE)
ユーラシア（欧州・NIS諸国）	原油	4.7百万バレル (日量25.8千バレル)
中東・アフリカ	原油	27.9百万バレル (日量152.5千バレル)
米州	原油	1.0百万バレル (日量5.4千バレル)
	天然ガス	14.0十億CF (日量76.5百万CF)
	小計	3.3百万BOE (日量18.1千BOE)
合計	原油	43.6百万バレル (日量238.4千バレル)
	天然ガス	182.9十億CF (日量999.3百万CF)
	小計	74.1百万BOE (日量404.9千BOE)
	石油製品	117.8千kl (741.1千バレル)
	ヨード	204.7t
	発電	98.2百万kWh

(注) 1　海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
2　原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
3　原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
4　上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、４月１日から9月30日の実績となっております。
5　当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、原油62.0百万バレル(日量338.8千バレル)、天然ガス　259.0十億CF(日量1,415.0百万CF)、合計105.2百万BOE(日量574.6千BOE)となります。
6　BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
7　石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
8　ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
9　数量は小数点第2位で四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

前第２四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	区分	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	
		販売量	売上高
日本	原油	73 千バレル	543
	天然ガス (LPG を除く)	28,954 百万 CF	31,997
	LPG	126 千バレル	1,419
	その他		13,061
	小計		47,022
アジア・オセアニア	原油	9,362 千バレル	65,836
	天然ガス (LPG を除く)	155,675 百万 CF	125,249
	LPG	1,518 千バレル	8,874
	小計		199,960
ユーラシア(欧州・NIS 諸国)	原油	2,979 千バレル	21,078
中東・アフリカ	原油	23,336 千バレル	157,137
米州	原油	745 千バレル	4,693
	天然ガス (LPG を除く)	15,866 百万 CF	3,099
	小計		7,793
合計	原油	36,496 千バレル	249,290
	天然ガス (LPG を除く)	200,495 百万 CF	160,346
	LPG	1,645 千バレル	10,293
	その他		13,061
	合計		432,992

（注）１　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２　決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、１月から６月の業績を第２四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
３　販売量は、単位未満を四捨五入しております。
４　前連結会計年度より国内の天然ガスの熱量換算係数を変更したことに伴い、変更後の販売量を記載しております。
なお、変更前の天然ガス販売数量は、日本セグメントは27,901百万CF、全セグメント合計では199,442百万CFであります。

当第２四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	区分	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	
		販売量	売上高
日本	原油	72 千バレル	711
	天然ガス (LPG を除く)	28,427 百万 CF	32,616
	LPG	121 千バレル	1,443
	その他		15,177
	小計		49,949
アジア・オセアニア	原油	6,619 千バレル	62,202
	天然ガス (LPG を除く)	142,153 百万 CF	166,579
	LPG	409 千バレル	2,850
	小計		231,631
ユーラシア(欧州・NIS 諸国)	原油	4,864 千バレル	45,036
中東・アフリカ	原油	27,551 千バレル	243,900
米州	原油	32 千バレル	250
	天然ガス (LPG を除く)	13,873 百万 CF	2,396
	小計		2,646
合計	原油	39,139 千バレル	352,101
	天然ガス (LPG を除く)	184,454 百万 CF	201,592
	LPG	530 千バレル	4,293
	その他		15,177
	合計		573,165

（注）１　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２　決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、１月から６月の業績を第２四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
３　販売量は、単位未満を四捨五入しております。
４　主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プルタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、その過半をLNGとして日本の需要家へ販売しております。

相手先	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	
	金額 （百万円）	割合 （%）	金額 （百万円）	割合 （%）
プルタミナ	127,235	29.4	104,183	18.2